

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2018 年 10 月 5 日開催分)

開催年月日： 2018 年 10 月 5 日(木) 17:00~18:00

開催場所： Café WASUGAZEN

委員の出席： 委員の総数 7 名

出席委員数 7 名

出席者

[審議員] 池ノ辺直子、音好宏、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、宮澤辰之、松田健吾、井田勇、下原久美子
池田綾香(記)、渋谷明子(記)、鍛冶真希子(事務局)

議 題： (1) 2018 年 7 月～9 月のシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い
合わせや指摘・意見について
(2) シネフィル WOWOW の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2018 年 7 月～9 月におけるシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い
合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的
な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 特集 “男が惚れる男” スティーヴ・マックイーン
<番組概要>
シネフィル WOWOW では、7 月・8 月にスティーヴ・マックイーンの魅力に
溢れる主演作 7 作品を放送。テレビの前でマックイーンのアクションに
釘付けになった映画ファンに向けて、7 作品すべて吹替版も放送した。特
に吹替版については、1970～80 年代に地上波で放送された吹替音源にこ
だわった。
また本企画の番組宣伝では、ナレーションや宣伝文句を最小限に抑え、マ
ックイーンのアクションや演技をシンプルに見せる作りにした。

審議内容： ■審議員意見

- ・スティーヴ・マックイーン作品は、今観ても面白いし、観るたびに
新しい発見がある。しかし、特集をするのであれば、「何故、今、ス
ティーヴ・マックイーンなのか」を全面に出して欲しい。

- ・番宣は、映画の持っている肌感覚や空気感を伝えようという作り手の意図が伝わってくるので良かった。ただ、「吹替版」を売りにするのであれば、「吹替版」の番宣もあると良い。
- ・『ブリット』(1968年)は、画質が綺麗で、古い感じがしなかった。若い人たちをターゲットにした番宣があっても良いと思う。
- ・動画宣伝は冒頭5秒~10秒が重要。短い時間で伝える工夫を、より磨いて欲しい。
- ・2大スターの名前のクレジット方法を解説した『タワーリング・インフェルノ』の映画紹介(2分)は、ためになった。映画のストーリーだけではない解説は、新たな側面から映画に対する興味を持たせてくれる。
- ・往年の名作は、一度観た人がもう一度観る「繰り返し視聴」が多い。「繰り返し視聴」を促すためのフックとして、「少し新しめの事」と「知っている事」をどのようなバランスで伝えるかを研究すると良い番宣が出来るのではないか。
- ・映画専門チャンネルの特性をもっと前面に出すためには、2分くらいの尺で、従来とは角度を変え、じっくりと作品情報を見せていく方法もあって良い。シニアや映画好きのファンにとって楽しめる番宣を今後もっと展開していくと面白いだろう。

■審議員長総評

- ・特集としては、「何故、今、ステイーヴ・マックイーンなのか」について、なにか理由・理屈がつけられると良かった。短い番宣が増える傾向のなかで、どのように作ると良いのかという話もあったので、工夫してもらいたい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2019年1月17日(木)午前11:00開催予定。

以上